

平成25年第7回（11月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

○ おかやま教育週間について

岡山県では、毎年11月1日から7日までをおかやま教育週間として、学校、家庭、地域社会が一体となって地域の子どもは地域で育てるという機運を盛り上げていこうとしています。

本市では、11月1日を学校開放日とし、幼稚園、小・中学校では、保護者や地域の方に子どもたちの活動や授業を自由に見ていただいたり、地域の行事を一緒に行ったりするなど、それぞれ工夫を凝らした取組が行われました。この日、延べ5,000人を超える方が幼稚園や学校にお越しくださいました。

今後も更に学校、家庭、地域が一体となって子どもたちを育てていけるよう、学校支援地域本部事業を始めとした体制づくりに努めていきます。

○ 体験型教育研修会について

本年度から実施している体験型教育推進事業の一環として、10月21日、22日の二日間にわたり、牛窓東小学校、行幸小学校を会場として、研修会を実施しました。文部科学省優秀教員等を講師として招き、公開授業や研究協議を行い、先生方の授業改善の一助になったものと考えています。来年1月には、数学者の秋山仁先生を招いての研修会を

予定しています。

○ 新図書館整備について

新図書館整備については、プロポーザルによる設計者選定後、教育委員会と設計者による「基本設計」案の検討を進めてきたところです。

去る10月10日に、第8回としょかん未来ミーティングを開催し、検討中の「基本設計」案について説明をさせていただいた後、市民の意見をお聞きしたところです。

10月18日開催の総務文教常任委員会においては、「基本設計」案の説明と、としょかん未来ミーティングにおける市民の皆さんからの意見を紹介し、委員の皆様からも意見をいただきました。

また、11月20日開催の同委員会においては、市の図書館整備についての意見をいただいたところです。

今後のスケジュールについては、「基本設計」を11月末を目途に完成させ、来年3月までに「実施設計」を完成させる予定です。

○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では、10月9日から18日まで、学芸員などがポーランド共和国トルン市にあるトルン地域博物館を訪問し、刀剣の調査及び日本刀や備前長船についての講演や実演を行いました。トルン地域博物館では日本から持参した刀剣の展示、職人による実演や、学芸員などが講演を行い、来場した多くのポーランドの方々に日本刀文化や備前長船について理解を深めていただきました。また、現地の日本大使館の依頼により、日本刀の作り方と鑑賞の作法について、満席の中、講義を行い、実際に

日本刀を手にとって鑑賞していただきました。

刀剣調査ではポーランド共和国の国立博物館、軍事博物館、トルン地域博物館などで、計50振りを超える調査を行いました。

この訪問の内容については、テレビせとうちで11月17日に30分番組で放送されました。

10月31日から第8回お守り刀展覧会を開催しています。本年から3つの賞が新設されることとなりました。まず始めに、刀剣の世界では初めて文部科学大臣賞を、また、駐日ポーランド共和国大使館から特別賞をいただきました。更には全日本伝統文化後継者育成支援協会によって新人賞が創設され、若手の育成が図られることになりました。

○ 瀬戸内市文化祭・備前長船菊花展の開催について

公民館を拠点として様々な文化芸術活動を行っている個人・団体の方々による日頃の学習成果の発表として、10月と11月に牛窓・中央・長船町公民館で文化祭を開催し、延べ約6,500人の方々の来場をいただきました。

中央公民館では岡山県警察音楽隊による演奏や黒田官兵衛の魅力について講演も行われました。

また、今年で27回を迎えた備前長船菊花展を10月19日から11月17日まで開催し、約5,500人の方々の来場をいただきました。

展示会場には、菊づくり講座受講者や愛好家の皆さん58名による133点713鉢の「市の花」菊が見事に咲き誇りました。会期後半にはライトアップが行われ、夜の幻想美もご覧いただきました。

○ スポーツフェスティバルについて

10月14日の体育の日、秋晴れの中、邑久スポーツ公園全域全施設で「スポーツフェスティバル2013」を実施しました。家族連れやスポーツの愛好者約800人が各種スポーツに挑戦し、笑顔あふれる中、気持ちのよい汗を流しました。

○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では、秋に吉井川流域を中心とした8つのエリアで開催されるアートライン事業「廻遊—海から山から—」に参加した3つの展覧会を行いました。

まず、9月6日から11月4日まで開催した「—この空の向こう—金子みすゞの世界を詠う 木版画の詩人 鈴木敦子展」では、木版画家・鈴木敦子がみすゞの詩をテーマに制作した木版画やガラス絵などを展示しました。版画が摺りあがっていく様子のわかる制作工程を示したコーナーや、作家が実際に使用している彫刻刀やバレンといった道具を展示したコーナーも設け、版画という技法を身近に感じてもらえる展示内容となりました。

次に、10月3日から14日まで、3階ギャラリーにおいて瀬戸内市出身の黒田武志の作品展「箱になった粒子／時間の結晶」を開催しました。牛窓で採取した素材を使った作品などを出品し、瀬戸内海に面した牛窓の印象をイメージした会場構成となりました。

最後に、10月22日から11月4日まで3階ギャラリーにおいて開催した「犬島時間展」では、写真や絵画、彫刻など、2004年から「犬島」で開催されているアートプロジェクト犬島時間から青地大輔ら現代

作家7名の作品展示を行いました。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成25年11月28日

瀬戸内市教育委員会

教育長 藤原 一成